

アライグマ



【由来】

食肉目アライグマ科。北米大陸に分布しており、日本にはペットとして持ち込まれました。国内では、1962年に愛知県犬山市の動物園から逃亡した個体の定着が岐阜県可児市で確認され、1979年には北海道恵庭市でも飼育個体の逃亡からアライグマが定着しました。その後も日本各地で侵入が確認され、現在では47都道府県全てで野生化したと考えられています。

【環境】

森林を含むさまざまな場所で見られます。人間の住環境にも出没します。

【行動】

主に夜行性。昼間活動することもあります。樹上のうろ、他の哺乳類の巣穴、納屋や家屋、寺社仏閣の屋根裏等をねぐらにしたり、子育ての場所にしたりします。ねぐらは複数持ちます。木や柱に登るのが得意です。

【繁殖】

1年に1回、4~6月（とその前後）に出産します。1度に1~7頭（平均3~4頭）を出産します。妊娠期間は2ヶ月前後で、メスは満1歳から出産可能です。

【食物】

雑食性で、果実や野菜等の植物質を中心に、小型哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、甲殻類、昆虫類等の動物質もよく食べます。生ゴミをあさることもあります。

【法制度上の位置づけ】

「特定外来生物による生態系等の被害の防止に関する法律」（外来生物法）に基づく特定外来生物に指定されています。

また、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」（鳥獣保護管理法）に基づく狩猟鳥獣で、狩猟期間に捕獲を行うことができます。

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（通称「生態系被害防止外来種リスト」）においては、総合対策外来種（緊急対策外来種）に選定されています。